

4人が意見を交わしたトークセッション
「袋井市高尾の袋井新産業会館キラット



トークセッションには、センタ
ー長の小笠
原敦滋(質医
科大特任教
授、大場規
之、袋井市
長、車載部
品製造AS
TIの原一
隆(取締役、
平井正大浜
松(いわた信
用金庫専務

イノベーション創出育成へ

袋井市と静岡理工科大など

センター開設記念でセミナー

袋井市と静岡理工科大、商工団体、金融機関の連携で今春同大内に開設された「ふくろい産業イノベーションセンター」は23日、記念セミナーを袋井市高尾の袋井新産業会館キラットで開いた。稼働チカラの高い中小企業育成を目指し、「イノベーション創出につながる産業のあり方」をテーマにトークセッションなどを行った。

が参加した。

前段の講演で、長期的視点でトライアンドエラーを続けることで成果が得られると述べた原取締役は「企業がニース、シーズを発信、受信できる場になれば」とセンターの役割に期待。小笠原センター長は変化への臨機応変な対応とイノベーション創出に向けた異業種連携の重要性を説き、「今までにない組み合わせを実現する場として機能させたい」と述べた。

平井専務はコーディネーターの役割や信頼関係づくりの構築が重要と指摘。大場市長は行政として「変革へのチャンス」に挑戦する企業への支援の姿勢を強調した。企業や支援機関、行政関係者95人が聴講した。